

まず、下記にしたがって**ソフトウェアのインストール**を行って下さい。

次に、デジタイザ・カードの取り付けを、添付の“Startup Guide”(英文)に従って行って下さい。

デジタイザを取り付ける PC は、電源容量 400W 程度以上のタワー型を推奨しております。Dell T5810, T5820、HP Z-420, Z-440, Z4G4 は、弊社での使用実績がございます。

“Startup Guide”(英文)11 ページの”Step 4: Install the Card”に、カード取り付け時の注意事項、**静電気に関するご注意、補助電源の取り付け方**が記載されておりますので、これらに従って取り付けして下さい。

U53xxA は、PCIe Gen.2 x8 bus を使用しておりますので、電氣的に x 8 or x 16 の slot に挿入して下さい。

デジタイザ取り付け後の PC 初回起動時は、デジタイザの認識に時間がかかったり、認識がうまく行かない場合があります。この場合は、全ての電源 OFF → 再起動を行って下さい。

また、Windows10 に関しましては、PC 立ち上げ時の PCIe デバイス認識がうまく行かない場合がありますので、”高速スタートアップを有効にする(推奨)”のチェックを外して(無効にして)下さい。本文書の最後に手順の記述があります。

ソフトウェアのインストール

ご使用になる開発環境(Visual C++, Visual Studio, LabVIEW...)がインストールされている PC(Windows7 Pro 64bit 版、Windows10 64bit 版推奨)に、同梱 CD-ROM の下記を順に実行し、ソフトウェア(ドライバ、ツール、マニュアル等)をインストールして下さい。

ご使用になる開発環境がインストールされていない場合、まず開発環境のインストールを先にお願いたします。

1. “MD3Software-3.6.778.25-x64.exe”を実行し、MD3 ドライバをインストールする

2. PC のシャットダウン(電源 OFF)、再起動を行う

Windows 64bit 環境への標準的なインストールでは、下記となります。

インストール状況の詳細は、下記リリース・ノートをご参照ください。

下記“Documentation”ディレクトリに”MD3_SFP_Help.chm”(SFP の説明書)、各デジタイザ名ディレクトリに、DataSheet.pdf と UserManual.chm がありますので参照して下さい。

リリース・ノート

C:\Program Files\Acqiris\MD3

ReleaseNotes.txt → インストール内容が詳細に記述されています

Documentation (マニュアル類)

C:\Program Files\Acqiris\MD3\Documentation

¥SA220E

¥SA220P

SA220P_DataSheet.pdf

SA220P_StartupGuide

SA220P_UserManual

¥SA230P

¥SA240P

¥SA240P

¥U5303A

¥U5309A

¥U5310A

MD3_SFP_Help.chm --> MD3 SFP help file

bin (ツール類)

C:\Program Files\Acqiris\MD3\bin

Acqiris.MD3.Sfp.exe

AqMD3Verify.exe

プログラム開発関係、サンプル・プログラム

C:\Program Files\IVI Foundation\IVI\Drivers\AqMD3

¥Examples

¥IVI-C¥Visual Studio¥C++

¥CPP_IVIC_Averager

¥CPP_IVIC_AveragerTSR

¥CPP_IVIC_MultiRecordAcquisition

¥CPP_IVIC_PeakDetection

¥CPP_IVIC_SimpleAcquisition

¥CPP_IVIC_Streaming

¥CPP_IVIC_StreamingPeakList

¥CPP_IVIC_StreamingZeroSuppress

¥CPP_IVIC_TriggeredCountPeakList

¥CPP_IVIC_TSR

¥IVI.NET (リンクです)

¥Firmware

AqMD3.chm --> プログラム・ガイド

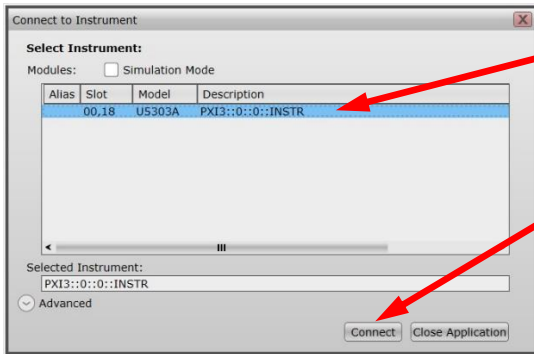
動作確認

下記 SFP(Soft Front Panel)を実行して、動作確認を行います。

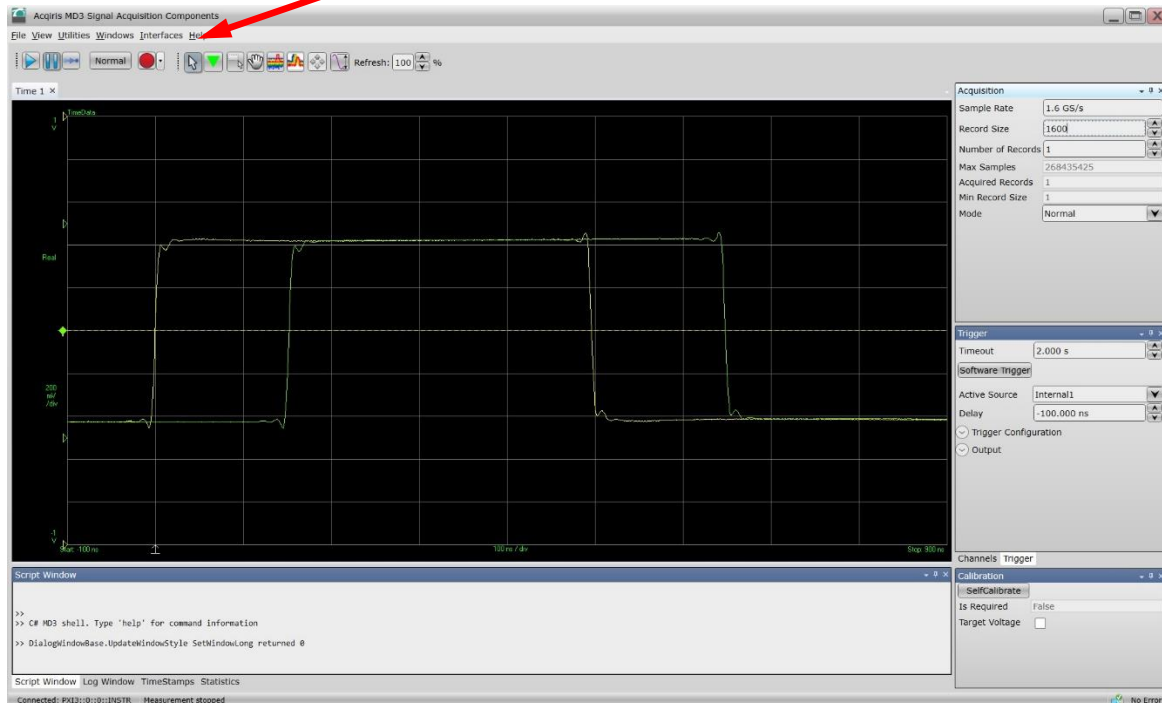
C:\Program Files\Acqiris\MD3\bin

Acqiris.MD3.Sfp.exe

実行すると、Connect to Instrument 画面が現れます。この時点で、デジタイザが認識されています。ここで、デジタイザを選択して connect をクリックすると、SFP(Soft Front Panel、オシロスコープ画面)が現れます。



波形発生器等から信号を入力し、デジタイザの動作確認を行います。



SFP の使い方は、下記 Help 或いは上記パネルの Help を参照して下さい。

C:\Program Files\Acqiris\MD3\Documentation

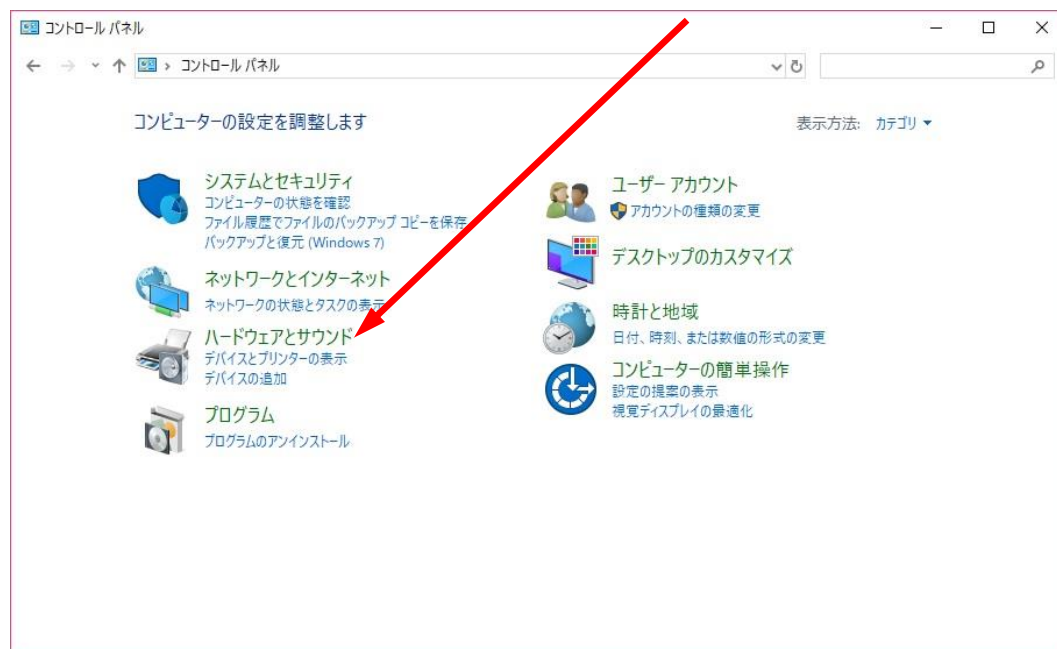
MD3_SFP_Help.chm

Windows10 の”高速スタートアップを有効にする(推奨)”のチェックを外して、無効にする方法

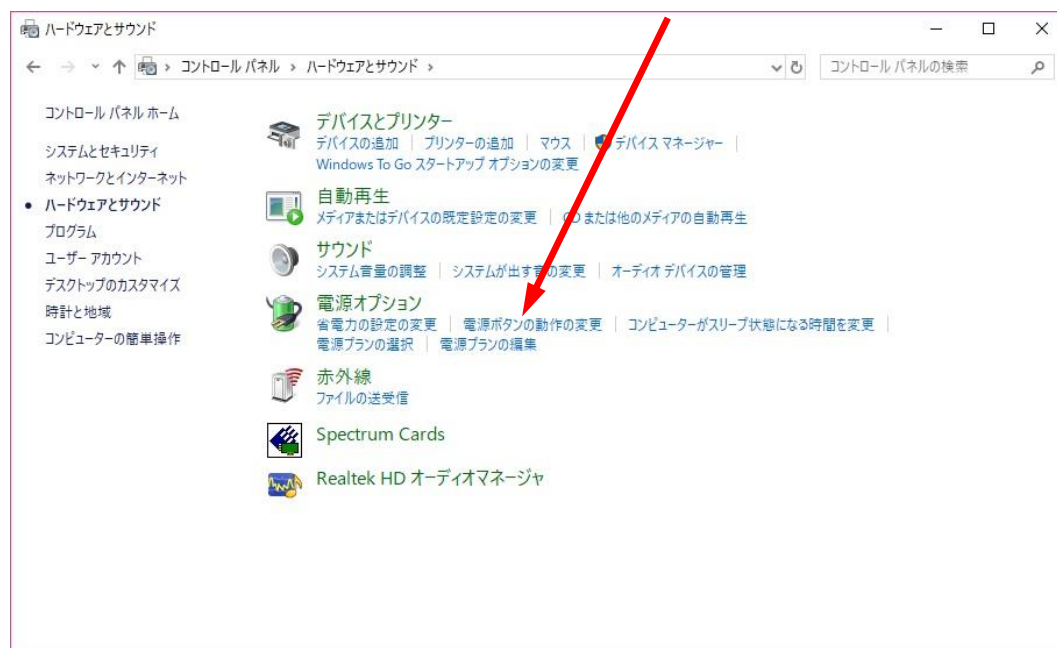
①”コントロール パネル”を立ち上げます

スタートボタン --> Windows システム ツール --> コントロール パネル

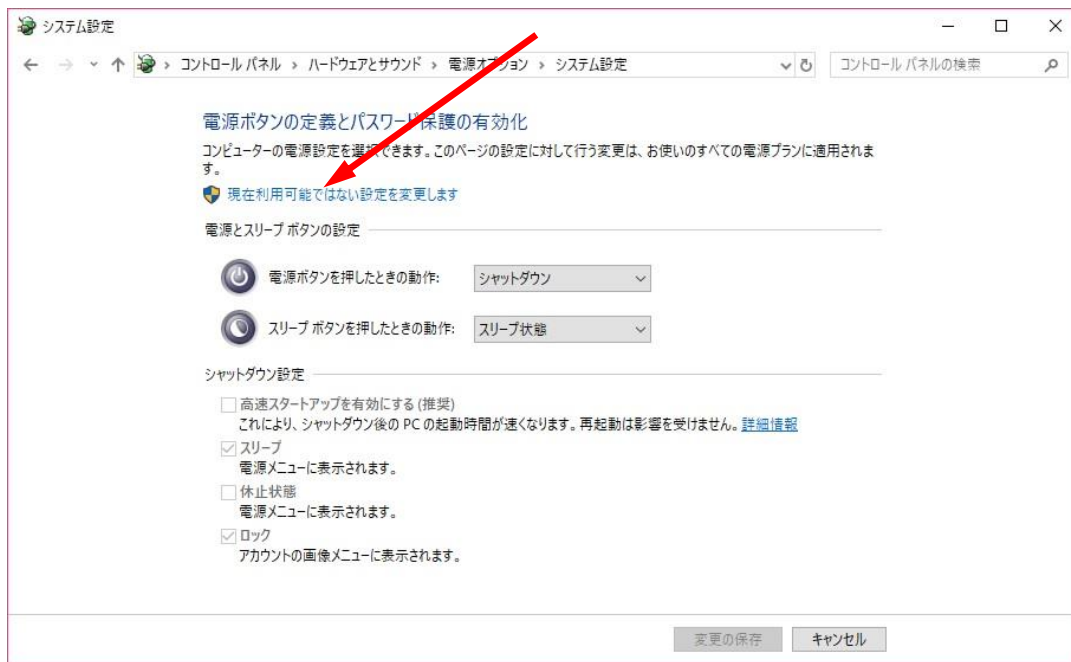
②”ハードウェアとサウンド”をクリックします



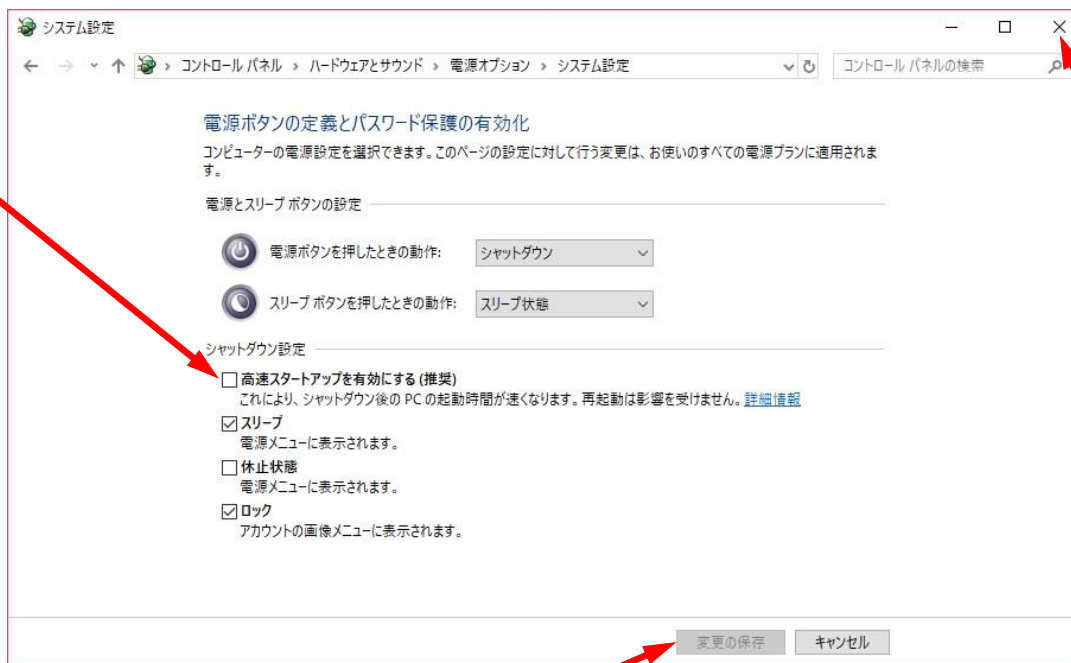
③”電源ボタンの動作の変更”をクリックします



④”現在利用可能でない設定を変更します”をクリックします



⑤”高速スタートアップを有効にする(推奨)”のチェックを外して、無効にします



⑥”変更の保存”をクリックします

⑦”コントロール パネル”を閉じます